

Atelierみるく 児童発達支援・放課後等ディサービス自己評価表

評価日： 令和4年 3月

評価者： Atelierみるく職員

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13				十分に活動スペースを確保しています。特に集団活動の際には密にならないように屋外の活動も取り入れています
	2	職員の配置数は適切である	11	1	1	職員の急な休みがあった時は配置不足にならないように、職員を補充しています。	各利用者の成長・ニーズに合わせて専門支援員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4	3	段差があるところは必ず声かけをして、見守っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	5		週1回のミーティングで意見交換をしています。	ミーティングに参加できない職員にも意見を共有するため、月1回は全体ミーティングを開催します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	2			保護者様からのアンケート結果やご意見を職員間で共有し、更なる業務改善に勤めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	3		ホームページで公開しています。	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13			業務に関連ある研修は積極的に参加しています。	職員自ら資質向上に向けて希望する研修に参加できるように調整しています。
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	13			毎回、書面や口頭でニーズの把握をおこなっています。	更に丁寧に要望をお聞きし、適切な療育が行えるように分析・立案していきます。
適切な支援の提供	9	活動プログラムの立案をチームで行っている。	9	4		ピアノ等は個人レッスンになるが、お互い助言し合っている。	ご利用者さんに関わる全ての職員以外にも専門職員の意見も取り入れながら立案しています。
	10	活動プログラムが固定しないよう工夫している	11	2		活動プログラムとともに、職員も固定化しないように工夫しています。	身体の調整などを取り入れたり、複数の職員で担当したり、固定化しないように心掛けています。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援の計画を作成している。	11	2		子どもの状況に合わせて行っています。	
	12	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	11	1	1	個別レッスンであっても役割分担を行っています。	役割分担を行って、利用者さまが安心してレッスンに向かえる環境作りを考えています。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	11	1	1		当日の振り返りを次回の支援に行かせるように共有しています。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13				毎回、記録は正しくつけることは徹底しています。
	15	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	13				担当者からの評価を元に、担当者とは児発管がモニタリング会議を行い、判断しています。
	16	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	10	3		役割分担をしながら組み合わせています。	利用者さまの個々の成長のため組み合わせる支援を行っています。
	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	1			最もふさわしい者が参加できない時は、その担当者から詳しく聞き取りして参画しています。
18	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13					
19	医療児ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	10	2	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	12	1			
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	3		相談員さんを通して積極的に提供している。	
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	1			
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	3		障がいのない子どもと活動するプログラムを設定しています。	集団プログラムにおいて、インクルーシブなレッスンを設定しており、双方にとって成長の場となるようつとめています。
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	6	1		できるだけ参加したいと考えています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13			送迎時などに当日の事業所での様子を伝えるようにしています。	毎回のレッスンの様子をお伝えし、また、学校での様子をお聞きし、お子さんの課題や状況を共有しています。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	4	1		
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13			契約時に説明させていただいています。	
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13			適宜行っています。	保護者様からお悩みがある時は時間を取らせていただいております。聞き、更なる支援へと繋いでいます。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13				苦情対応についての体制を整え、ご契約時にご説明しております。
	30	個人情報に十分注意している	13				
	31	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13			対面、書面、グループラインなどで、情報伝達の漏れがないように注意しています。	
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	5	1		
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13			ご契約時に説明させていただいています。	いつでも御覧いただけるように事業所入口に設置しております。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13			毎年5月11月に行っています。	昨今の感染症の状況から、去年は実際には行えなかったが、机上訓練を行っております
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1		毎年定期的に行っています。	
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	11	2		ご契約時に説明させていただいています。	
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	3		食べ物を提供する機会はないが、注意しています。	
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	2			